



2021 年度
第 47 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1 「殴り代暴行」悔しい
崔(チェ)チョルウォン…
当時の判決文を
もう一度見た



2 スケート界
派閥争いから
終わらせろ



3 心身が温かい
正しい学生選手への
成長を応援して



4 【障害者選手被害】
各種暴力でも
助けを求めることが
できない



5 オリンピック政治化問題に
巻き込まれた I O C、
スポーツの政治的中立性
原則だけ再強調



01 JTBC 뉴스 2021. 12. 17

「殴り代暴行」悔しいという^{チエ}崔チョルウォン…当時の判決文をもう一度見た

【崔チョルウォン/マイト&メイン代表：映画ベテランに出てきたものは95%は誇張と虚構だ。】

【アンカー】

アイスホッケー協会長の承認が行き詰まると、いわゆる「殴り代暴行」事件の加害者崔チョルウォン氏はこのように悔しさを訴えました。11年前の事件が実際と違っており報道が誇張されたとい

うが本当にそうなのか、私たちは当時の判決文を見てみました。

崔ハウン記者です。

【記者】

アイスホッケー協会長の承認をめぐって昨日（16日）法廷に立った崔チョルウォン氏は、11年前の話を先に取り出して悔しいと言いました。

【崔チョルウォン/マイト&メイン代表：私は社会的物議を起こしたことはありません。社会的物議を起こしたとしてマスコミが作ったものだ。】

しかし2010年、いわゆる「殴り代暴行」事件が知られた後、警察に召喚された崔氏はこう答えたことがあります。

【崔チョルウォン/マイト&メイン代表（2010年12月）：私のためにこんな悪いことが起き、社会的にお騒がせしてすみません。】

どの言葉が本当なのか、当時の判決文を見てみました。

崔氏が「2千万ウォンをあげる対価として野球バットで20回叩く」と言ったあと尻を叩くと、10回叩かれた被害者が「助けてくれ」とひざまずいて許しを請ったが、むしろ顔を拳で殴られ足で蹴られて全治2週間の傷を負いました。

実際当時、被害者はマスコミを通じて真っ青にあざが出来た体と肉のおちた口の写真を公開しました。

【金チルジュン/当時被害者弁護人：傷害を被ったことはもちろん、精神的な傷がどれほど大きいでしょう。（被害者が）相談に来たとき事実、極端な選択をしようと…】

崔氏は昨日、金を渡した方法をはじめとする様々なことが世の中に誤って伝わったとも言いました。

【崔チョルウォン/マイト&メイン代表：金を投げてやったこともなくオンライン送金しました。このすべてが警察と検察調査記録、裁判記録にはすべてあるのに記者の皆さんが書いてくれなかったと…。】

判決文によると崔氏が送金したのは貨物車の運転手だった被害者の車両を買い取った対価として支払った5千万ウォン。

いわゆる「殴られ代」は暴行現場で千万ウォン小切手2枚で支払われ、この金さえ会社の金であることが判明し、横領容疑まで認められました。

崔氏は控訴審で被害者と合意し、深く反省しているとして懲役1年6ヶ月、執行猶予3年を受けました。

(映像デザイン：金ユンナ) (画面出典：MBC「時事マガジン 2580」・民衆の声)

出典：https://news.jtbc.joins.com/article/article.aspx?news_id=NB12039401

02 ソウル新聞 2021. 12. 16 朴ジェホン体育部次長

スケート界派閥争いから終わらせろ / 朴ジェホン体育部次長



2018年平昌冬季五輪の時、シム・ソクヒとAコーチが交わしたメッセージ対話が、あるマスコミを通じて公開されて国民は大きな衝撃を受けた。悪口を混ぜて同じ代表チームの選手を見下し、さらに仲間が金メダルを取れないので中国選手を応援するという内容に一部国民は裏切りまで吐露した。シム・ソクヒが趙ジェボム前ショートトラック国家代表コーチの性暴行被害を受けた事実は今回の事案とは別だ。

国民が失望した理由はシム・ソクヒが2014年ソチ冬季オリンピックと平昌五輪の金メダリストであり、依然として傑出した技量を誇り国家代表選抜戦を1位で通過した、来年の北京冬季オリンピックの期待株だからだ。

もちろん会話自体は本人の意図とは無関係に公開された極めてプライベートな問題だ。しかし、ショートトラック代表チームの選手がお互いを信じることができず、誹謗するという事実だけでも衝撃は大きかった。

今、世論はシム・ソクヒが故意に崔ミンジョンを倒したのか、これによってシム・ソクヒの懲戒レベルがどの程度なのか、また北京オリンピック出場が可能なのかに集中している。去る8日大韓スケート競技連盟調査委員会はシム・ソクヒが平昌オリンピックショートトラック女子1000m決勝で「ブラッドバリー」(勝負操作を意味する隠語)をしたという証拠を見つけることができなかつたと結論を下した。シム・ソクヒが崔ミンジョンを押ししたのは歴然としているが、故意の衝突に対する証拠として見るには不足だという話だ。スケート連盟内の公正委員会(賞罰委員会)の最終懲戒決定が残ったが、故意衝突の証拠が出ずにシム・ソクヒは北京オリンピックに出場する可能性も開かれている。

しかし、シム・ソクヒが北京オリンピックに出場し韓国がメダルをもう1つ追加したとしても、ショートトラックとスケート界に対する国民の疑問がすべて消えるわけではない。

調査委はシム・ソクヒが崔ミンジョンを含め、同僚に罵詈雑言を浴びせた疑惑に対しては「事実が正しい。シム・ソクヒ本人もこれを認めた」と明らかにした。スケート界内部の慢性的な派閥戦いが公式に確認されたのだ。崔ミンジョンは平昌五輪3000mリレーと1500mで金メダルを首にかけた。シム・ソクヒと崔ミンジョンが直接的に派閥問題に言及したことはないが、二人の選手の間が良くない理由は十分に推論して見ることができる。シム・ソクヒは韓国体育大、崔ミンジョンは延世大学出身だ。シム・ソクヒがAコーチと交わした会話の中には「今ロッカールームにユビン(李ユビン)、私、ミン(崔ミンジョン)、セウ(朴セウ・コーチ)がいるけど、私が出て行けばリレーの話をしそう。だから出て行かない。ただ出て録音機をつけておくか」と言及した内容がある。李ユビンは崔ミンジョンと同じ延世大出身だ。

派閥戦いが悪いだけではない。善意の競争を通じて競技力を向上させるきっかけになれば肯定的だ。しかし同じチーム内部で分裂が起こり、結果的に競技力に影響を及ぼすなら、明らかに改善すべき問題だ。

スケート連盟は来る 21 日公正委を開き、シム・ソクヒの懲戒の可否を決定する予定だ。懲戒レベルによってシム・ソクヒのオリンピック出場可否も決まる。だがこれにとどまってはならない。匿名のスケート界関係者は、「スケート界内の指導者の間で“うちの子供たち”と“他の子供たち”を区別する式の旧時代的な方式が存在するのは厳しい事実」とし「今回の機会に派閥問題をきちんと解決できずに過ぎれば、第 2 のシム・ソクヒと崔ミンジョンはいつでもまた出るだろう」と指摘した。

調査委が認めたように、スケート界内の同僚間の悪口と誹謗は今も現在進行型だ。スケート界はその原因を自ら明らかにし、公開的に自浄努力を見せなければならない。来年 2 月 4 日開幕する北京オリンピックが 2 カ月も残っていない。今がチャンスだ。

出典：https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20211217030007&wlog_tag3=naver

03 忠清トゥデイ 2021. 12. 14 金ドクジン大田西部教育支援庁生涯教育体育課奨学士 心身が温かい正しい学生選手への成長を応援して



東京オリンピックでイケメン剣客と呼ばれた世界ランキング 1 位の呉サンウクがフェンシングサブで種目団体戦金メダルを合作し、スポーツ界のスターとして再び注目を集めた。各種放送番組に頻繁に登場するが、すらりとした身長と秀麗なルックスでファンの愛をたっぷり受けて現在最高の人気を享受している。大田から大学まで卒業した大田学校体育の大きな結実であり、さらに大田が生んだ世界的な人物になった。

大韓民国エリートスポーツは 88 オリンピックをきっかけに急成長した。いくつかの記録では、すでにスポーツ強国クラスに上がっているが、副作用がひどい。勝利

の華やかさの裏に隠された暗い影が依然として表れている。新たに運動を始めた若い学生選手に対する人性教育と心理的安定の重要性を改めて感じる。昨年、トライアスロン故崔スクヒョンの残念な死をきっかけに、いわゆるエリートスポーツの総体的な不良と慢性的に繰り返される体育界の暴力が現れ、学生選手保護の必要性が提起された。バレーボール界双子スターの過去の学校暴力、スケート界の指導者と選手、選手と選手間の絶えない葛藤の輪のように、この解決策をみんなで考えなければならない。

「国家と地方自治体は学生選手の人権保護のために学生選手と学校運動部指導者を対象にスポーツ人権教育を実施しなければならない」、学校体育振興法第 12 条の 3 に基づき学生選手の人権伸長のため定期的な教育活動が義務的になされている。学校で学校暴力予防教育を実施しても校内暴力は急激に減少しない。学校運動部の運営にも学校管理者の関心と運動部指導者たちの教育に対する共感帯形成、親の愛がたっぷり込められているとき、学生が初めて徐々に変化する効果が現れるだろう。

心身が温かい正しい学生選手に成長するため △人権伸長のための良質な教育活動 △心理専門家の感情コーチングとケースに合わせた相談活動 △先端技術を活用した科学的な運動能力測定と分析（スポーツの科学化） △進路と大きな夢のためのスポーツ分野指導者との出会いなど多角的な支援が必要だ。学生選手たちの情緒、交友関係、行動特性、運動機能を深く評価して選手として成長することが困難であれば、積極的な早期支援で継続的に成長できるように導かなければならない。しばしば人生で速度より方向の重要性を語るように、学生選手も今の成績より長期的な目標を設定し、身体を酷使する過去の訓練方式から脱皮し、心身の基本技訓練に忠実でなければならないだろう。「一人の子供を育てるのに村の全てが必要だ」

というアフリカのことわざのように教育庁、学校、親が共に真心と愛で心身が正しい学生選手を育てるとき、完全なスポーツ強国に生まれ変わるだろう。

出典：<https://www.cctoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=2154397>

04 亜洲経済 2021. 12. 18

【障害者選手被害】各種暴力でも助けを求められない



保健福祉部と文化体育観光部、スポーツ倫理センター、大韓障害者体育会が最近、国家人権委員会の障害者体育選手人権保護・増進政策改善勧告を全て受け入れた。人権委は去る4月、障害者選手人権状況を実態調査した結果をもとに政策改善を勧告した。

障害者スポーツの特性上、非障害者に比べて体育施設へのアクセス権など差別問題が追加で発生する可能性が高い。各種暴力

による被害も同じだ。これは人権委が2019年に実施した実態調査で確認された。当時、人権委は小・中・高校及び大学の学生選手や職場運動部選手など非障害者選手とともに障害者選手の人権侵害実態・原因を調べた。

◆「今もなお体育施設利用が難しく、(性)暴力蔓延」

人権委によると障害者選手は専用または公共・民間体育施設を利用している。障害者選手1万709人を対象とした実態調査（有効回答者1554人）の結果、56.9%は障害者専用体育施設を、58.9%は公共体育施設を利用した経験がある（重複含む）と明らかにした。

文体部が同年実施した「障害者生活体育実態調査」でも生活圏周辺で使う体育施設として障害者専用公共体育施設（33.8%）、公用公共体育施設（22.2%）、民間体育施設（7.6%）の順に挙げた。

障害者専用体育施設利用者の35.7%は利用に困難があったと答え、その理由で障害者運動用品装備不足（33.5%）、シャワー室などの便宜施設の不足（25.3%）などを挙げた。

公共体育施設の利用に関連しては、非障害者に邪魔になるという理由（人目が気になる）で利用を放棄したという回答の割合が36.5%に達した。車いす傾斜路、エレベーター、障害者トイレ、自動ドア、障害者専用駐車場などが設置されていないため利用できなかった（29.1%）、安全上の理由（24.9%）、障害程度が深刻だという理由（15.6%）で利用を拒否された事例も多かった。

暴力の深刻さも大きかった。いずれか一つ以上の暴力被害経験があると答えた障害者選手は22.2%（345人）だった。具体的なダメージタイプ（重複応答を含む）としては、暴行（6.9%）、気合および仕置き（8.8%）、冷やかしたり集団いじめ（6.6%）、過度な訓練強要（10.4%）、恐怖感や脅威的な雰囲気（7.8%）、体罰などの理由で監禁（1.5%）などがあつた。

暴力の加害者は監督・コーチ（49.6%）、先輩選手（31.6%）、仲間や後輩選手（22.0%）などと調査された。主に訓練場（59.4%）で暴力が発生したほか、スタジアム（30.7%）、合宿所（13.3%）、食堂・飲食場（11.6%）、キャンプ訓練宿（7.5%）、運動部室（7.0%）、指導者室（宿舎含む、4.6%）、移動車両（4.3%）、ロッカールーム・シャワー室（2.6%）など多様だった。

性暴力・セクハラ被害経験比率は9.2%（143人）となった。性別では女性13.6%、男性7.8%だった。タイプ別では、言語的セクハラ6.1%、視覚的セクハラ6.0%、物理的セクハラ(性暴力)5.7%だった。

このうち言語的セクハラは「誰かが私の身体部位（胸・お尻などの大きさや形など）について比較・評価する言葉を出したことがある」（3.9%）などの回答が出た。視覚的セクハラは「誰かが私が服を着替えるときに強制的にドアを開けて入ってきたことがある」（1.4%）、「誰かが私の前でズボンを下ろして自分の性器など裸の身体部位を見せたり触ったことがある」（1.0%）などの被害もあった。

性暴力も「誰か許可なく手・頭・肩・太もも・お尻など自分の身体に触れたことがある」（4.0%）という回答から「暴力と脅威で強制性関係要求」（0.8%）、レイプ（0.6%）まで千差万別だった。

◆「解決できそうにない」・・・被害申告比率1桁

問題は暴力被害障害者選手のうち周辺や外部機関に助けを要請した割合が16.8%に過ぎないという点だ。

彼らが支援を要請した対象・機関（重複応答含む）は、家族・親類縁者（41.4%）、友人・知人（34.5%）、体育団体（31.0%）、外部相談センター（13.8%）、捜査機関（10.3%）の順だった。

大多数の被害者は外部に助けを要請しなかったが、その理由として「話をしても解決しそうにない」という答えが37.6%で最も多かった。また、「助けを要請するところがわからない」（13.6%）、「どのように対応すべきかわからない」（11.8%）などと確認された。

性暴力・セクハラ被害障害者選手たちの約35%も被害時に何の対応もしなかった。代表的な理由は「問題を起こしたくないから」（40.0%）だった。続いて「どうすべきか分からず」（22.0%）、「不利益を受けるのを恐れて」（14.0%）、「被害当時は性暴力なのか分からず」（12.0%）、「どんな行動をしても役に立たないようなので」（12.0%）など残念な答えが多かった。

申告率も著しく低かった。性暴力・セクハラ被害選手たちのうち9.1%だけが大韓障害者体育会体育認知院センターなど体育団体内部に申告したと答えた。警察署や女性緊急電話1336、性暴力相談所、ひまわりセンターなど外部機関に申告したと回答した者は4.2%にとどまった。

むしろ被害事実を外部に知らせたり支援を要請して二次被害につながったと答えた割合が67.3%と高く現れた。具体的には、「加害者が自分に有利になるように状況を指導者や仲間選手に異なって知らせた場合」（19.2%）、「同僚にいじめられた場合」と「加害者と合意および和解を強要した場合」、各13.5%などと調査された。

障害者選手の23.4%は障害者体育から性暴力問題が根絶されにくいと見た。その理由で「障害者選手は運動をしなければ社会で他の職業を見つけるのが難しく、被害事実を隠したり話さないため」（26.4%）が最も多かったし、「指導者と選手、先輩・後輩選手間の関係、上命下服のスポーツ文化のため（16.5%）」がその後に続いた。

出典：<https://www.ajunews.com/view/20211217181058242>

05 スポーツ京郷 2021.12.12

オリンピックの政治化問題に巻き込まれたIOC、 「スポーツの政治的中立性」原則だけ再強調



「オリンピックの政治化」問題に巻き込まれた国際オリンピック委員会（IOC）が「スポーツの政治的中立性」を再び強調した。

IOCは12日、スイス・ローザンヌでトーマス・バッハ委員長駐在の下、対面方式で行われた「第10回オリンピックサミット」を終え、公式宣言を通じて「IOCはオリンピックとスポーツに対するいかなる政治化にも強く反対し、IOCとオリンピック、さらに全体オリンピック運動の政治的中立性の必要性を強調する」と明らかにした。

IOCのこの日の宣言は政治的中立性を強調する原則以外に何の具体的な内容も盛り込んでいなかったが、現在の鋭い問題となっている「北京オリンピック外交的ボイコット」を狙った発表であるに違いない。

IOCは政治的中立性に関する短い2つの文章に「しっかりと」、「強く」という表現をもれなく使用し、問題の拡散を警戒した。

IOCは政治的中立性に関する短い2つの文章に「しっかりと」、「強く」という表現をもれなく使用し、問題の拡散を警戒した。

北京オリンピックに対する外交的ボイコットは去る7日、米国バイデン政権が中国内での少数民族に対する人権弾圧と虐殺などを理由に「オリンピックに選手団を派遣するが、いかなる形態の公式外交使節も送らない」と宣言して広がった。イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダなどが同調するという意思を明らかにし、日本も前オリンピック相を送るレベルで妥協案を探すという報道が出た。

だが10日、フランスが「外交的ボイコットは実効性がない」とし「非常に小さく象徴的な措置のためにオリンピックを政治化してはならない」と反対意思を明らかにして雰囲気はやや沈んでいる。2024年パリオリンピックを開催しなければならないフランスとしては、実益のない外交的ボイコットでやぶをつつく必要がないと判断したものと見られる。北京オリンピック開幕式にウラジミール・プーチン大統領が参加する計画を早く固めたロシアは、米国の主張に「無意味だ」と反対意思を明らかにした。中国はこれに便乗し、「米国はオリンピック精神をこれ以上毀損してはいけない」と反撃を加えている。

IOCのグローバルスポンサーも「経済的ボイコット」に参加しなければならないという主張まで出て、IOCとしては改めて政治的中立性を強調し、これ以上の問題拡散を警戒した。

出典：https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202112121357003&sec_id=530101&pt=nv

06 週間スポーツ関連ニュース

スポーツ倫理センター、地域別事務所3ヶ所…本格的業務開始

<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=01226726629279504&mediaCodeNo=258>

自分で再就任職の席を作って…警護会社出身城南市公務員のでたらめセルフ採用

https://www.chosun.com/national/national_general/2021/12/18/QXCLZJOISZA7PHWCER5Q2XQFUI/?utm_source=naver&utm_medium=referral&utm_campaign=naver-news

足を切断した、重量挙げ「無制限体重クラス」で体を作った

https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1023840.html

全南教育庁、小学校運動部学校スポーツクラブに転換

https://newsis.com/view/?id=NISX20211216_0001690628&cID=10201&pID=10200

体育会予算着実な増加…社会的経済分野のコストを大幅に削減

http://www.ohmynews.com/NWS_Web/View/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0002794610

安全と効率性ともに捉えたレーザー射撃、大韓体育会正式種目目標

<http://www.sportsseoul.com/news/read/1085254?ref=naver>

次期韓国体育学会長に李ハンギョン龍仁大学教授

<https://view.asiae.co.kr/article/2021121916594607600>

よもぎが育った平昌の新人たち…北京ではメダル狩りにつながる

<https://www.mk.co.kr/news/sports/view/2021/12/1138363/>

大韓陸上連盟、夢の木・青少年選手の非対面冬季訓練実施

<https://www.news1.kr/articles/?4523080>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>